

令和8年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 市4

船橋市立船橋高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名3分
(3) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔155点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限20点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。
イ 特記事項	3級以上の英語検定について加点する。

(2) 面接〔40点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、v（極めて優れている）・s（優れている）・a（良い）・b（標準的である）・c（問題がある）の5段階で評価する。vを10点、sを8点、aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 応答内容	本校普通科への志望動機、興味・関心がうかがえる。
イ 態度	意欲がうかがえる。面接の基本的作法ができています。

(3) 作文〔40点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、v（極めて優れている）・s（優れている）・a（良い）・b（標準的である）・c（問題がある）の5段階で評価する。vを10点、sを8点、aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。全体としてまとまりがある。
イ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。誤字や脱字がなく、文法を正しく用いている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点		面接	作文	総得点
評定	加点			
135点	20点	40点	40点	235点

4 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

令和8年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 市4

船橋市立船橋高等学校 全日制の課程 商業科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名3分
(3) 作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔155点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限20点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。
イ 特記事項	3級以上の検定試験(簿記, 珠算, 情報処理, 英語)について加点する。

(2) 面接〔40点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、v（極めて優れている）・s（優れている）・a（良い）・b（標準的である）・c（問題がある）の5段階で評価する。vを10点、sを8点、aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 応答内容	本校商業科への志望動機、興味・関心がうかがえる。
イ 態度	意欲がうかがえる。面接の基本的作法ができています。

(3) 作文〔40点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、v（極めて優れている）・s（優れている）・a（良い）・b（標準的である）・c（問題がある）の5段階で評価する。vを10点、sを8点、aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。全体としてまとまりがある。
イ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。誤字や脱字がなく、文法を正しく用いている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点		面接	作文	総得点
評定	加点			
135点	20点	40点	40点	235点

4 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

令和8年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 市4

船橋市立船橋高等学校 全日制の課程 体育科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名3分
(3) 適性検査	運動の基礎的な検査 検査時間：5～10分程度

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。

(2) 面接〔40点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、v（極めて優れている）・s（優れている）・a（良い）・b（標準的である）・c（問題がある）の5段階で評価する。vを10点、sを8点、aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 応答内容	本校体育科への志望動機、興味・関心がうかがえる。
イ 態度	意欲がうかがえる。面接の基本的作法ができています。

(3) 適性検査〔40点満点〕

各種目を測定し、男女別に評価する。

評価項目	評価基準
基礎的な運動能力	基礎的な運動能力を身に付けている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「適性検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点	面接	適性検査	総得点
評 定			
135点	40点	40点	215点

4 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。